

全L協総会、選ばれるエネ目指し「ビジョン」発表 「自主保安」「需要開発」「取引適正化」重点推進

(一社)全国LPガス協会は6月6日、東京都内で開いた定時総会で、向こう10年を見据えた「LPガスビジョン2030」を発表し、その実現に向けた「アクションプラン」を示しました。また、2019年度の重点事業として自主保安活動、需要開発の推進、取引適正化の再徹底などを決定しました。

LPガスビジョンは、同協会が流通3団体の統合で発足し10年が経過したことから策定。LPガスが「消費者に選ばれるエネルギー」となるよう、信頼・競争力・環境・連携・ブランドの5キーワードを掲げて取り組んでいくことにしています。

秋元耕一郎会長はあいさつで、「国の国土強靱化計画でLPガスの位置付けが明確化されたのは、3団体統合によるワンボイス発信の成果である」「LPガスビジョンの具現に全力で取り組む」と強調しました。

■LPガスビジョン2030 5キーワード軸に各課題に取り組む

5キーワードを掲げ、次の主な活動を展開する。ビジョンを具現するアクションプランは中長期事業として推進していく。

- 信頼：法令の遵守、自主保安の推進
 - 競争力：取引適正化の推進、お客様サービスの強化・多角経営のフォロー、公共施設へのLPガス常設常用・GHPの普及、LPG車の普及・スタンドの維持拡大
 - 環境：高効率・省エネ機器の普及、再生可能エネとの共生
 - 連携：平時・災害時供給体制の維持、早期復旧への協力体制、避難所への災害バルク導入
 - ブランド：LPガス従事者の満足度向上、LPガスのイメージアップ広報、新技術の活用
- ### ■2019年度重点事業 LPガススタンドの振興策も課題
- 自主保安運動：「重大事故ゼロ・CO中毒事故ゼロ」を掲げて「快適生活向上運動（もっと安全さらに安全）」を継続推進する。2年目。
 - 需要開発運動：「需要開発推進運動」を継続推進する。学校・避難所空調へのGHP導入を図る。
 - 取引適正化の再徹底：適正化・料金透明化に向けて「LPガス販売指針」を再徹底する。
 - その他：LPガススタンドの振興、災害時の保安対策、中核充填所を中心とした安定供給など。

NITE、ガスこんろの不注意事故を注意喚起

NITE（＜独＞製品評価技術基盤機構）は5月23日、2018年度にガスこんろによる死亡事故が3件起きたことを受け、「ガスこんろの事故（火災事故に潜むヒューマンエラー）に注意」するよう喚起しました。

ガスこんろは2008年4月から調理油過熱防止装置の標準装備が始まり、同10月には法令で調理油過熱防止装置と立ち消え安全装置の装備が義務付けられました。しかし依然として、誤った使い方による事故や、安全装置のない古いこんろによる事故が発生。2013～2018年度の6年間に重大製品事故として通知があった事故は225件に上り、うち調査が終了した事故182件は、99件が誤使用などで起きていました。

■気を付けるポイント（NITE、抜粋） お客様に啓発を！

- 使用中はその場から離れない。
- グリルは使用后、こまめに掃除する。
- グリル庫内で調理物や汚れなどが発火した場合は、操作ボタンや器

具栓つまみを消火の状態に戻し、火が収まるまで開けない（扉を開けると、火があふれ、周囲に燃え広がるおそれがある）。

- 煮こぼれや油汚れはきれいに拭き取る。
- ガス臭いときは絶対に火を点けず、ガス栓を閉めて販売店やガス業者に連絡をする。
- 点火しにくく繰り返し点火操作をするときは、周囲のガスがなくなるまでしばらく待つ。
- こんろの周囲に燃えやすいものを置かない。

アストモス、カナダからプロパンを初輸入

アストモスエネルギーは6月5日、アルタガス（カナダ・アルバータ州）が、カナダ西海岸で操業を開始したリドリーアイランドプロパン輸出ターミナルから出荷されたプロパンを、日本で初めて、九州液化瓦斯福島基地（長崎県松浦市福島町、出資：アストモスエネルギー、ENEOS グローブ各50%）に受け入れたと公表しました。

我が国のLPガス輸入は、割安な北米産へのシフト化が進み、2018年度輸入量（1,064万トン）は、中東24.3%に対し北米（アメリカ）は69.6%へと大きく逆転。今回のカナダからの輸入開始で調達が多様化が一段と進むこととなります。輸入量は公表されていません。

“学校空調”背景にGHP出荷が急増

学校空調へのGHP提案・設置が各地で本格化し、日本冷凍空調工業会・GHPコンソーシアム統計によれば、1～5月の出荷台数（都市ガス・LPガス）は13,650台となり、前年同期を+47.2%も上回っています。一方、EHPの1～4月出荷台数は289.0千台で、前年同期比+11.1%増。GHP、EHPともに月を追うごとに増えています。

■出荷台数の推移 1～5月で前年同期比47.2%増

- GHP（カッコ内は前年比） 1月1,442台（+4.0%増）、2月1,957台（+13.4%増）、3月2,773台（+24.5%増）、4月3,286台（+72.6%増）、5月4,192台（+102.6%増）
- EHP（同） 1月59.8千台（+1.1%増）、2月68.6千台（+3.0%増）、3月80.1千台（+8.7%増）、4月80.5千台（+32.7%増）

7月プロパン、CP375.00ドル、MB223.41ドルに

7月積み込みCP（サウジアラビア輸入FOB価格）は、プロパン（P）はトンあたり375ドル、ブタン（B）は355ドルにすると輸入元売各社に通知がありました。前月に比べPは▲12.79%、▲55.00ドル、Bは▲14.46%、▲60.00ドルの下降。

一方、米・モントベルビュー（MB）の7月適用プロパン価格（OPIS社発表）は223.41ドルで、前月に比べ▲24.80%、▲73.66ドル下降しました。

次世代住宅ポイント制度、申請受け付けがスタート

消費税率10%で住宅を新築やリフォームしたとき、さまざまな商品と交換できる「次世代住宅ポイント制度」の申請受け付けが6月3日からスタートしました。1ポイントは1円相当です。

- 住宅のリフォーム（貸家を含む）の場合
→1戸あたり上限30万ポイント 若者・子育て世帯などは上限を引き上げ
→対象 ①窓・ドアの断熱改修 ②外壁、屋根・天井または床の断熱改修 ③エコ住宅設備の設置 ④耐震改修 ⑤バリアフリー改修 ⑥家事負担軽減に資する設備の設置 ⑦若者・子育て世帯による既存住宅の購入に伴う一定規模以上のリフォーム工事等